

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

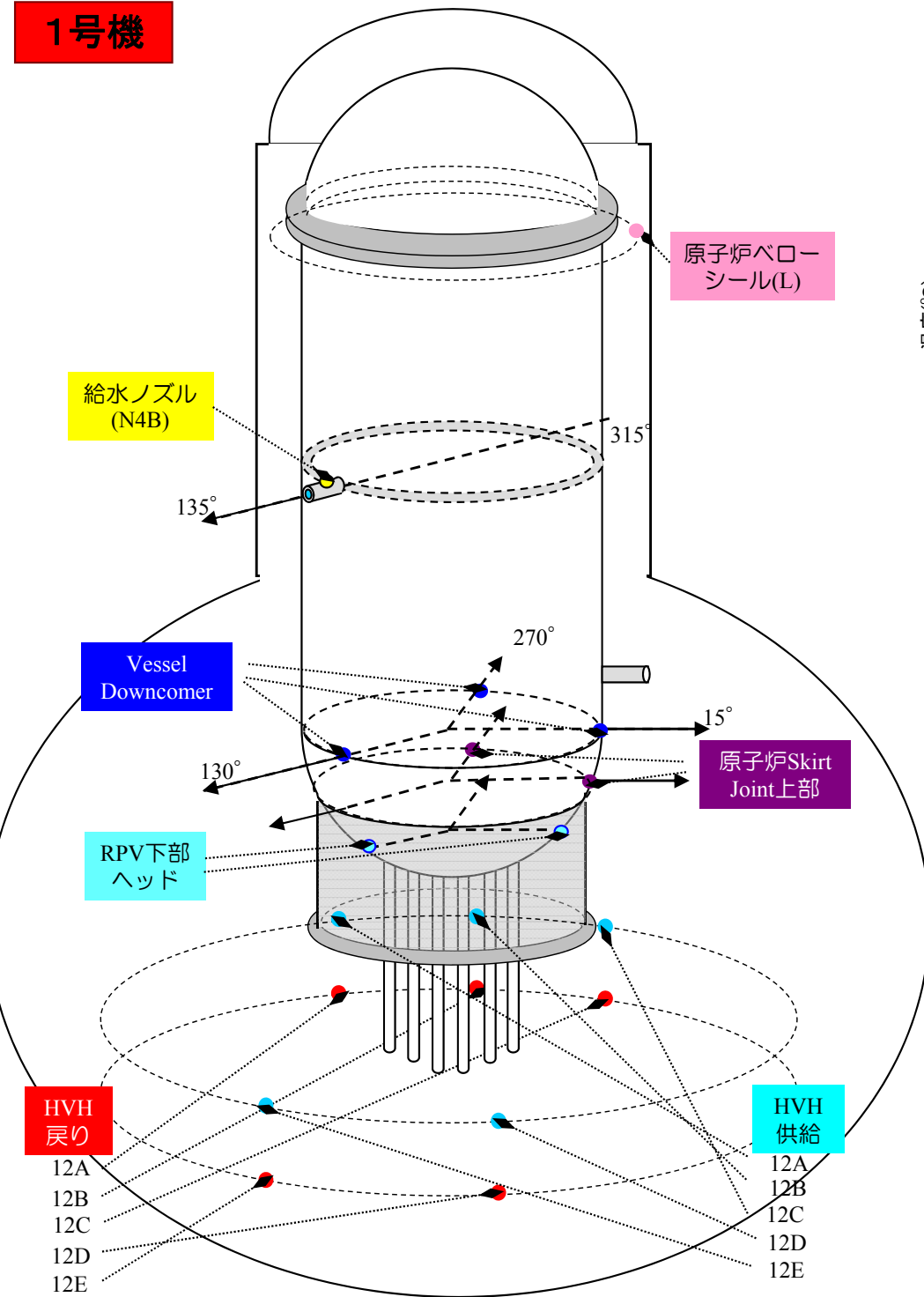
号機	1号機		2号機		3号機	
	4月27日	5月25日	4月27日	5月25日	4月27日	5月25日
原子炉注水状況	給水系：2.5m ³ /h CS系：1.9m ³ /h (4/27 11:00 現在)	給水系：2.5m ³ /h CS系：1.9m ³ /h (5/25 11:00 現在)	給水系：1.8m ³ /h CS系：2.4m ³ /h (4/27 11:00 現在)	給水系：1.9m ³ /h CS系：2.4m ³ /h (5/25 11:00 現在)	給水系：1.9m ³ /h CS系：2.5m ³ /h (4/27 11:00 現在)	給水系：1.9m ³ /h CS系：2.5m ³ /h (5/25 11:00 現在)
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：17.3℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：17.2℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：17.2℃ (4/27 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：19.8℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1)：19.7℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：19.6℃ (5/25 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：22.9℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：22.9℃ (4/27 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：25.2℃ RPV温度 (TE-2-3-69R)：25.2℃ (5/25 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：19.9℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：19.8℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：18.8℃ (4/27 11:00 現在)	RPV下部ヘッド温度 (TE-2-3-69L1)：22.5℃ スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1)：22.4℃ RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1)：21.4℃ (5/25 11:00 現在)
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：17.5℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：17.0℃ (4/27 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：20.0℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：19.5℃ (5/25 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：23.7℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：22.9℃ (4/27 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：26.5℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2- 16B (TE-16-114G#1)：25.1℃ (5/25 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：19.7℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：18.4℃ (4/27 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A)：22.4℃ 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1)：21.1℃ (5/25 11:00 現在)
原子炉格納容器 圧力	0.50kPa g (4/27 11:00 現在)	0.57kPa g (5/25 11:00 現在)	4.51kPa g (4/27 11:00 現在)	4.95kPa g (5/25 11:00 現在)	0.27kPa g (4/27 11:00 現在)	0.27kPa g (5/25 11:00 現在)
窒素封入流量 ※1	RPV：28.19Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (4/27 11:00 現在)	RPV：28.19Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/25 11:00 現在)	RPV：14.53Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (4/27 11:00 現在)	RPV：14.62Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/25 11:00 現在)	RPV：17.62Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (4/27 11:00 現在)	RPV：17.73Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/25 11:00 現在)
原子炉格納容器 水素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (4/27 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (5/25 11:00 現在)	A系：0.04vol% B系：0.04vol% (4/27 11:00 現在)	A系：0.03vol% B系：0.02vol% (5/25 11:00 現在)	A系：0.07vol% B系：0.04vol% (4/27 11:00 現在)	A系：0.03vol% B系：0.02vol% (5/25 11:00 現在)
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：9.50E-04Bq/cm ³ B系：1.29E-03Bq/cm ³ (4/27 11:00 現在)	A系：1.01E-03Bq/cm ³ B系：1.26E-03Bq/cm ³ (5/25 11:00 現在)	A系：ND(1.7E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.6E-01Bq/cm ³ 以下) (4/27 11:00 現在)	A系：ND(1.7E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.6E-01Bq/cm ³ 以下) (5/25 11:00 現在)	A系：ND(2.6E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.7E-01Bq/cm ³ 以下) (4/27 11:00 現在)	A系：ND(2.6E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(2.7E-01Bq/cm ³ 以下) (5/25 11:00 現在)
使用済燃料 プール水温度	19.5℃ (4/27 11:00 現在)	22.9℃ (5/25 11:00 現在)	17.1℃ (4/27 11:00 現在)	20.4℃ (5/25 11:00 現在)	16.8℃ (4/27 11:00 現在)	22.4℃ (5/25 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	4.17m (4/27 11:00 現在)	3.87m (5/25 11:00 現在)	3.70m (4/27 11:00 現在)	3.31m (5/25 11:00 現在)	3.70m (4/27 11:00 現在)	4.36m (5/25 11:00 現在)

号機	4号機		5号機		6号機	
	4月27日	5月25日	4月27日	5月25日	4月27日	5月25日
使用済燃料 プール水温度	15.6℃ (4/27 11:00 現在)	19.4℃ (5/25 11:00 現在)	21.3℃ (4/27 11:00 現在)	22.5℃ (5/25 11:00 現在)	17.2℃ (4/27 11:00 現在)	21.0℃ (5/25 11:00 現在)
FPC 貯蔵タンク 水位	3.33m (4/27 11:00 現在)	4.24m (5/25 11:00 現在)	3.00m (4/27 11:00 現在)	2.45m (5/25 11:00 現在)	4.20m (4/27 11:00 現在)	3.40m (5/25 11:00 現在)

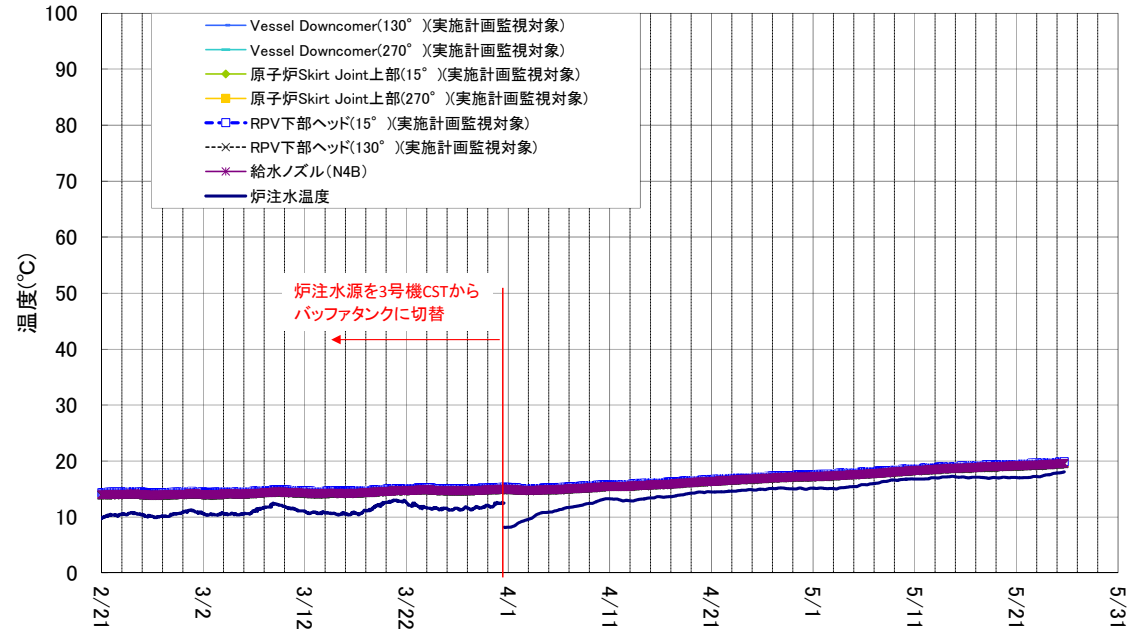
※1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。
 ※2: 窒素封入停止中
 ※3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉圧力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約15℃～約35℃で推移。
 格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

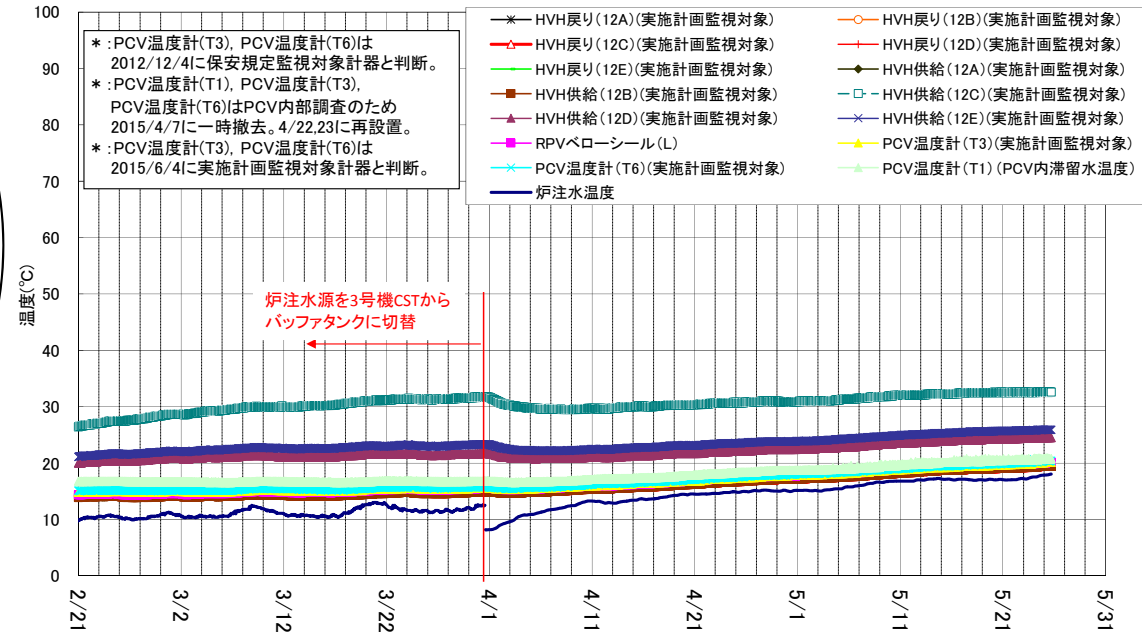
1号機



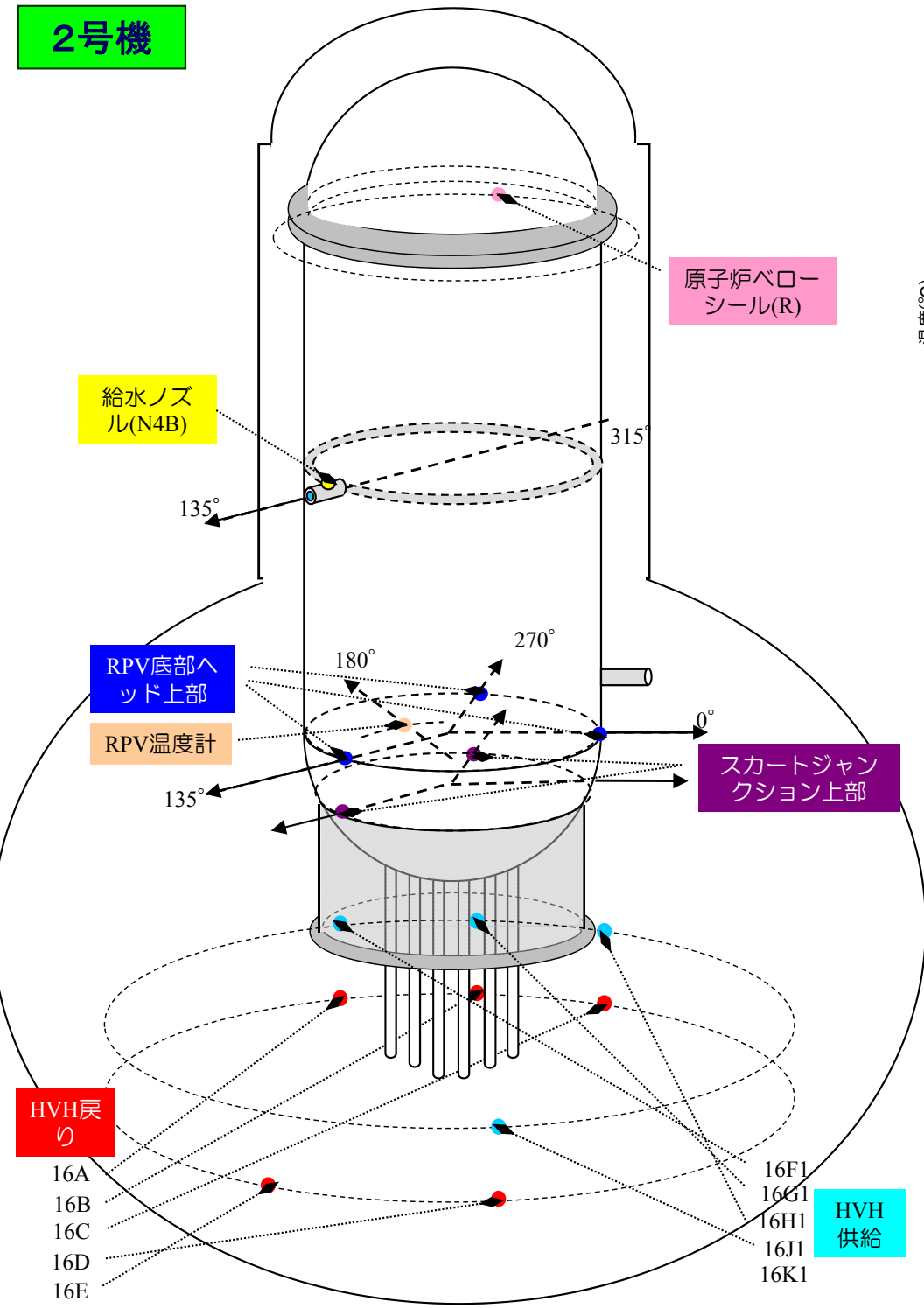
1号機 原子炉压力容器まわり温度(2/21~5/25)



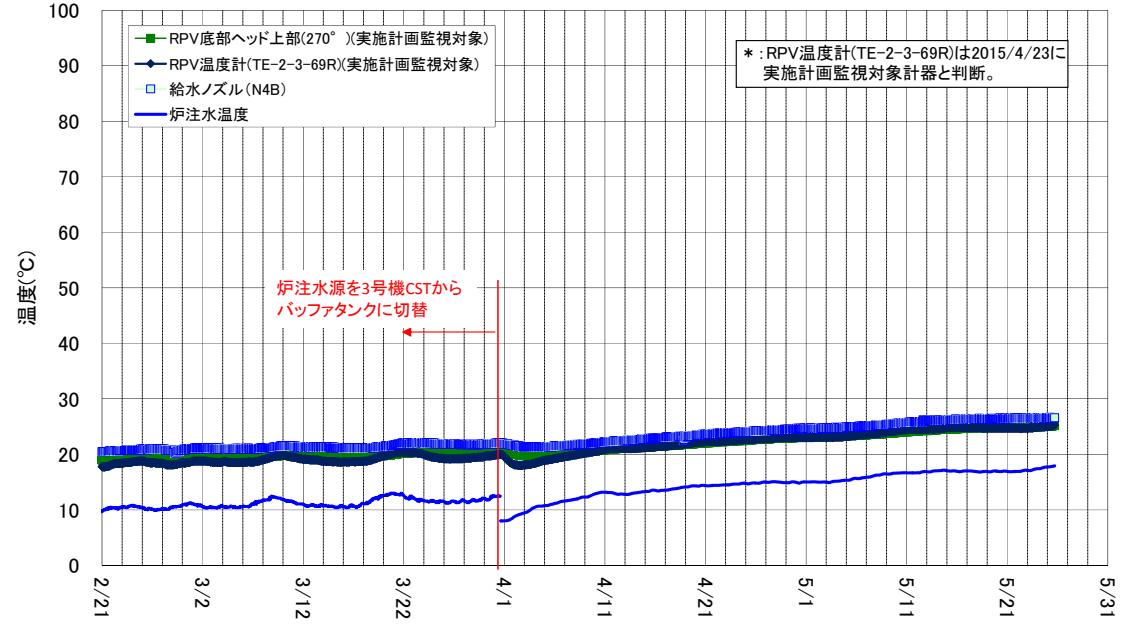
1号機 D/W雰囲気温度(2/21~5/25)



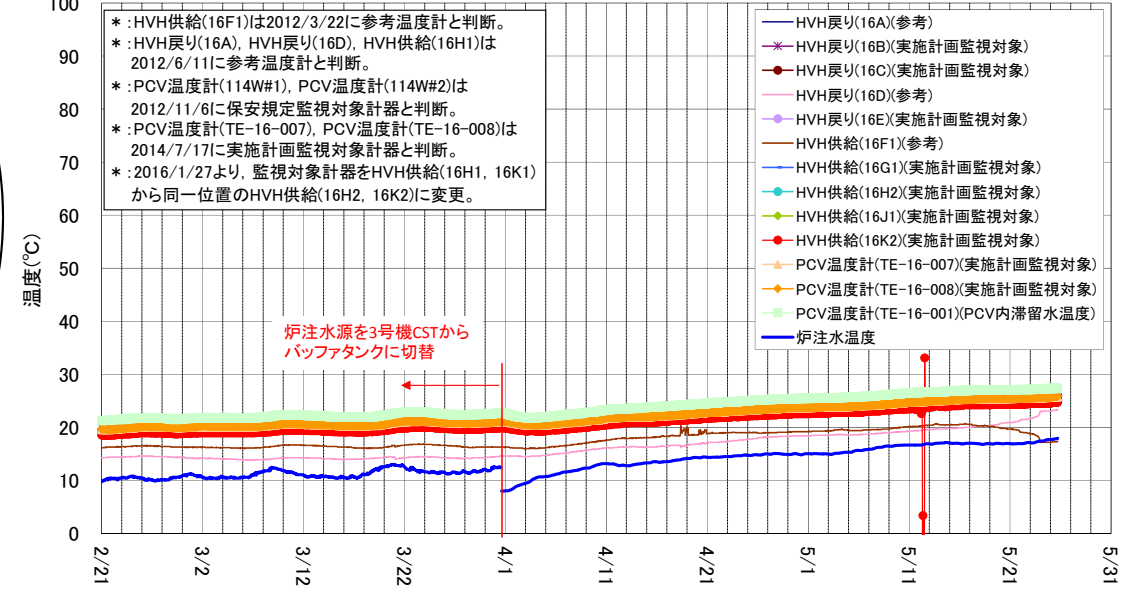
2号機



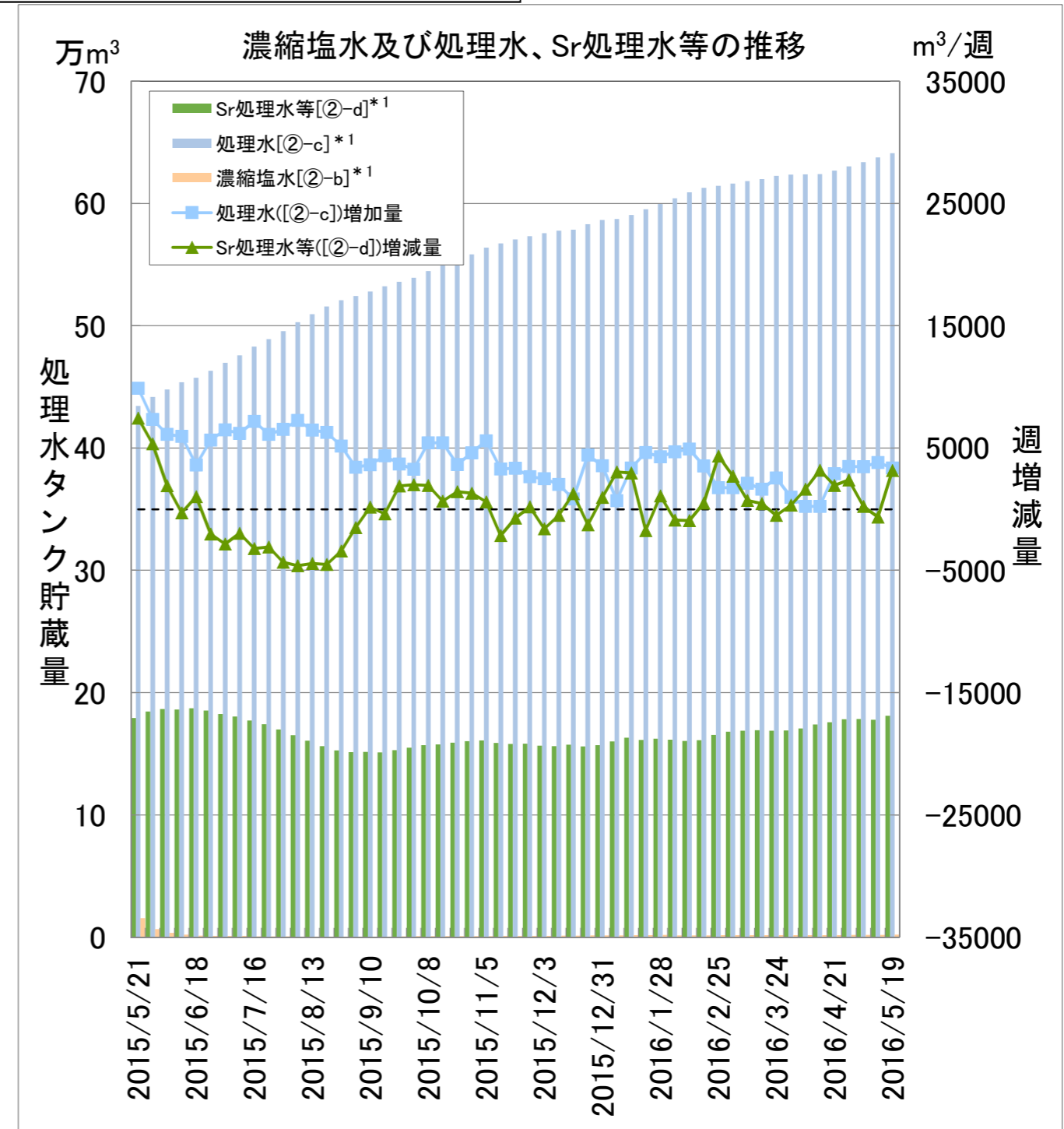
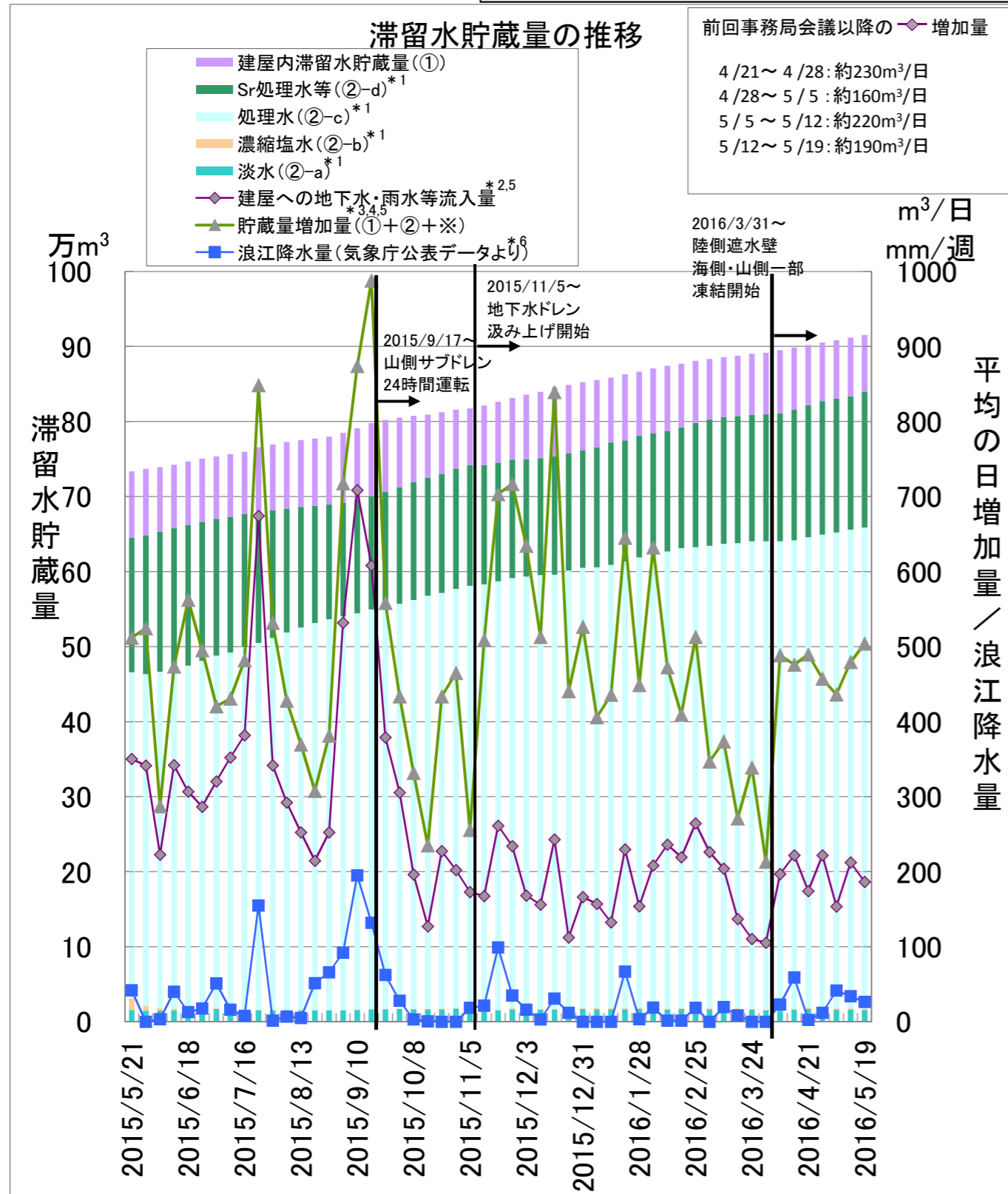
2号機 原子炉压力容器まわり温度(2/21~5/25)



2号機 D/W雰囲気温度(2/21~5/25)



滞留水の貯蔵状況の推移



- ①: 建屋内滞留水貯蔵量(1～4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))
- ②: 1～4号機タンク貯蔵量([②-a淡水]+[②-b濃縮塩水]+[②-c処理水]+[②-dSr処理水等])
- ※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

処理水	累積処理水	期間処理水		定格処理量
	[m3]	[m3/週]	[m3/日] ^{注1)}	[m3/日]
既設多核種除去設備 ^{注2)}	283,820	991	142	750以上
増設多核種除去設備	260,672	2,382	340	750以上
高性能多核種除去設備	102,556	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	1,128	0	0	50
Sr処理水等	期間処理水		定格処理量	
	[m3/週]	[m3/日] ^{注1)}	[m3/日]	
セシウム吸着装置	6,247	892	600	
第二セシウム吸着装置			1200	

注1) 週間の平均値
注2) 既設多核種除去設備処理水の一部は、残水があるRO濃縮塩水タンクに移送し、Sr処理水等として貯蔵

*1: 水位計0%以上の水量
*2: 2015/9/10より集計方法を変更(建屋・タンク貯蔵量の増加量からの評価→建屋貯蔵量の増減量からの評価)
「建屋への地下水・雨水等流入量」=「建屋保有水増減量」+「建屋からタンクへの移送量」-「建屋への移送量(原子炉注水量、ウェルポイント等からの移送量)」
*3: 2015/4/23より集計方法を変更(貯蔵量増加量(①+②)→(①+②+※))
*4: 2016/2/4 濃縮塩水の残水量再評価により水量見直しを行ったため補正
*5: 建屋水位計の校正の影響を含む算出値(2016/3/10～3/17:プロセス主建屋、2016/3/17～3/24:高温焼却炉建屋)
*6: 降水量は浪江地点(気象庁)を用いているが、欠測があったことから、富岡地点(気象庁)を代用(2016/4/14～4/21)

各エリア別タンク一覧

(2016年5月19日 現在)

※下線部は前回報告からの変更点

1～4号機用汚染水貯蔵タンク

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備考
C	26	40	鋼製角型タンク(溶接)	濃縮塩水	残水処理中
	52	40	鋼製角型タンク(溶接)	淡水	
C東	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
C西	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
D	25	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮塩水	残水処理中
E	18	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(C)	
	31	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
G1	72	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	淡水	
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	7	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
	33	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C、R)	
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
G4南	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	17基の内、2基は使用時期未定
G4北	6	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G5	17	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G6北	19	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	漏えいが確認されたため、1基使用停止 20-1=19
G6南	18	500	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・高性能・増設)	
H1東	4	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H5	8	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	Sr処理水等(M)	
	23	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H6	24	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	残水処理中
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
H8南	11	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
H9	5	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
H9西	7	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	淡水	
J1	90	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	
	8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設)	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (既設・増設・高性能)	
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K2	28	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
K3	4	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
多核種除去 設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核 種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種 除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
合計	937			Sr処理水等内訳 C: センウム吸着装置等、M: モバイル型ストロンチウム除去装置等 R: RO濃縮水処理設備、A: 多核種除去設備等	

濃縮廃液

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	7	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

高濃度滞留水受けタンク

G1	28	100	鋼製横置きタンク(溶接)※土中埋設	高濃度滞留水	非常用の受けタンクであり、現在未使用
----	----	-----	-------------------	--------	--------------------

5, 6号機用汚染水貯蔵タンク

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5, 6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5, 6号機滞留水	Kタンク
合計	49				

(参考)

地下水バイパス用タンク

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--

汚染水等構内溜まり水の状況（2016.5.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	10m盤に存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134: <1.0E1 Cs137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H3: 1.1E2 (2015.11.2)
1-2	2号機R/B	2号機R/B	10m盤に存在する建屋	降雨量により変動	[上屋] Cs134: 200~340 Cs137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr90: 10~20 H3: ND(<100) (2015.1.16)
2	5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約10,000 (2015.4.16時点)	Cs134: 26 Cs137: 65 Co60: 13 (2014.2.6)
3	5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (2015.4.16時点)	Cs134: 26 Cs137: 65 Co60: 13 (2014.2.6)
4	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み)	【No.172(AJ5)蓋外周部(他調査中)】 Cs134: 1.9E+3 Cs137: 6.8E+3 全β: 3.0E+6 (2015.4.2)
5	No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(35m盤)	約1(一部1cm残水あり)	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134: 2.3E+03 Cs-137: 4.3E+03 全β: 6.6E+07 (2013.11.19)
6	4000tノッチタンク (角型タンク)	・4000tノッチタンク	35m盤タンクエリア	約900 (2015.6.30時点)	【3000tノッチタンク】 水抜き済 【1000tノッチタンク】 Cs134: 1.7E1 Cs137: 6.1E1 全β: 9.6E4 (2015.6.3)
7	濃縮水タンク (蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク (スラリー/濃縮水)	35m盤タンクエリア (Gエリア)	約85 (2015.6.9時点)	【蒸発濃縮装置濃廃水】 Cs134: 1.7E4 Cs137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)
8	淡水貯留タンク (G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク (横置きタンク)	35m盤タンクエリア	約6000 (2015.4.16時点)	【淡水化装置出口水】 H3: 8.7E5 全β: 1.5E4 (2012.9.18)

汚染水等構内溜まり水の状況（2016.5.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
9	5, 6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	<ul style="list-style-type: none"> ・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・5号機逆洗弁ピット ・6号機逆洗弁ピット 	5, 6号機スクリーン近傍	(5号機吐出弁ピット) 約550 (6号機吐出弁ピット) 約850	【5号機吐出弁ピット】 (2015.10) Cs134: 1.3 Cs137: 4.8 【6号機吐出弁ピット】 (2015.10) Cs134: 1.1 Cs137: 5.6 【5号逆洗弁ピット】 (2015.10) Cs134: 5.1 Cs137: 2.4E+1 【6号逆洗弁ピット】 (2015.10) Cs134: 4.3 Cs137: 1.7E+1
10	1~4号機T/B屋根	<ul style="list-style-type: none"> ・1号機T/B ・2号機T/B 	10m盤に存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134: 250~740 Cs137: 980~2700 全β: 1400~6900 (2014.11.26) 【2号機T/B上屋】 Cs134: 120~3000 Cs137: 420~10,000 全β: 500~29,000 (2014.12.1)
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	・1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(10m盤)	排水完了(2015.6.26)(残水あり)	Cs134: 6.4E+5 Cs137: 2.5E+6 全β: 3.3E+6 (2015.3.23)
12	2号CSTタンク(溶接タンク)	・2号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2260(2015.6.17現在)	Cs134: 1.7E+4 Cs137: 5.7E+4 全β: 4.2E+6 (2015.3.23)
13	3号CSTタンク(溶接タンク)	・3号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2120(2015.6.17現在)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2016.2.9) H3: 3.8E+5 Sr90: ND 【CST貯留水】 (2015.7.16) Cs134: 2.1E+3 Cs137: 8.0E+3
14	4号CSTタンク(溶接タンク)	4号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2000	【プラント復水】
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	35m盤タンクエリア	一※(2016.4)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.2 × 10 ⁶ (2016.3.25) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 2.4 × 10 ⁵ 1.6 × 10⁵ (2016.4.25) (2016.5.24) H3: 8.1 × 10 ³ 1.2 × 10³ (2016.4.20) (2016.5.18)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	35m盤タンクエリア	約1390(2016.4)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3 × 10 ⁶ (2016.3.25) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.6 × 10 ⁴ 4.5 × 10⁴ (2016.4.20) (2016.5.18) H3: 1.5 × 10 ³ 3.8 × 10³ (2016.4.6) (2016.5.4)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	35m盤タンクエリア	約150(2016.4)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 6.2 × 10 ⁶ (2014.6.13) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.3 × 10 ⁴ 3.7 × 10⁴ (2016.4.21) (2016.5.19) H3: ND 3.1 × 10² (2016.4.7) (2016.5.5)

※: 水位計の計測限界水深未満(残水あり)

汚染水等構内溜まり水の状況（2016.5.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	35m盤タンクエリア	—※ (2016.4)	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 —
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	35m盤タンクエリア	—※ (2016.4)	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	35m盤タンクエリア	約120 (2016.4)	【RO濃縮水貯水実績あり】 — (参考:漏えい検知孔水) 全β:ND ND (2016.4.21) (2016.5.19) H3:ND ND (2016.3.3) (2016.5.5)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	35m盤タンクエリア	約90 (2016.4)	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 —
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト ・4号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~ 310 (2014.12~2015.1)	Cs134: 2.6E1 ~6.4E4 Cs137: 8.6E1 ~2.1E5 全β:5.6E1~2.9E5 H3:ND~7.9E3 (2014.12~2015.1)
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1600	Cs134:6.1E2 Cs137:1.9E3 全β:2.2E3 H3:2.0E2 (2014.12)
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約3000	Cs134:1.0E1 Cs137:4.4E1 全β:5.5E1 (2016.5.11)
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (2015.6.30時点)	—
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く	— 【立坑D】 Cs134:5.6E5 Cs137:1.9E6 全β:4.2E6 H3:1.5E5 (2015.2.27)
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く	— Cs134:7.5E4~1.4E6 Cs137:2.6E5~4.7E6 全β:3.9E5~6.8E6 H3:2.8E3~2.1E4 (2015.4)
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約750	Cs134:1.6E2 Cs137:5.3E2 全β:8.1E2 H3:1.3E2 (2014.12)
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	約230 (2016.2)	Cs134:4.9E4 5.0E4 Cs137:2.3E5 2.5E5 全β:3.7E5 3.6E5 H3:7.0E3 (2016.3.30) (2016.5.11)
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約1-800	Cs134:1.9E1~1.2E4 Cs137:5.0E1~1.5E4 全β:6.8E1~2.6E3 H3:ND~2.1E2 (採取期間:2012.1~2015.2)

※:水位計の計測限界水深未満(残水あり)

汚染水等構内溜まり水の状況（2016.5.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
29	1～4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1～4号機周辺 「未復旧」	約20m ³	No.16 Cs134:1.3E5 1.4E5 Cs137:7.2E5 7.8E5 全β: 7.6E5 7.7E5 H-3: 8.6E3 4.3E3 (2016.3.30) (2016.4.25)
30	その他1～4号機サブドレン(ディー プウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機～4号機サブドレン	1～4号機周辺 「未復旧」	約15/ピット	No.47,48 Cs134:ND～3.9E1 Cs137:4.8E1～9.6E1 全β:7.9E1～2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)
<u>31-1</u>	1～4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット ・2号機逆洗弁ピット ・3号機逆洗弁ピット ・4号機逆洗弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	(1号機逆洗弁ピット) 約200 (2016.5.23) (2号機逆洗弁ピット) 約900 (2016.5.23) (3号機逆洗弁ピット) 約1300 (2016.5.23) (4号機逆洗弁ピット) 約1200 (2016.5.23)	(1号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:4.4E3 Cs137:2.5E4 全β: 2.9E4 H3: 2.6E2 (2号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:1.4E2 Cs137:8.0E2 全β: 9.3E2 H3: ND (3号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.4E3 Cs137:1.2E4 全β: 1.5E4 H3: 5.3E2 (4号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.3E2 Cs137:1.2E3 全β: 1.3E3 H3: ND
<u>31-2</u>	1-4号機吐出弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	【1号機吐出弁ピット】 0 (2015.11) 【4号機吐出弁ピット】 0 (2015.10)	【1号機吐出弁ピット】 — 【4号機吐出弁ピット】 —
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海 側	約3800	【放水路上流側立坑】 (2016.4.22) (2016.5.23) Cs134:1.1E3 1.8E2 Cs137:5.7E3 7.6E2 全β:7.0E3 1.0E3 H3:6.0E2 ND
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2-4号機タービン建屋 海側	約3000	【放水路上流側立坑】 (2016.4.22) (2016.5.23) Cs134:2.3E2 4.1E2 Cs137:1.2E3 2.1E3 全β:4.2E3 4.2E3 H3:3.4E2 1.8E2
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3-4号機タービン建屋 海側	約600	Cs134:2.6E2 Cs137:1.1E3 全β:1.7E3 H3:9.0E2 (2015.6.10)
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134:7.2 Cs137:23 I-131:<4.3 Co-60:<4.2 全γ放射能:3.1E+1 (2014.5.23)
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約1000	Cs134:ND Cs137:ND Co60:1.922E+01 (2015.6.4)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約1250	Cs134:ND Cs137:ND Co60:5.254E+02 (2015.6.16)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレン チ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5～6号機周辺	約1～1200/トレンチ	Cs134:ND～2.2E3 Cs137:7.2E1～3.3E3 (採取期間:2012.1～2012.2)

汚染水等構内溜まり水の状況（2016.5.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134: ND～0.34 Cs134: ND～0.95 全β: ND～2.6 H-3: ND～25 (採水期間: 2014.8～2014.11)
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134: 1.0E+1 Cs137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (2015.3.25時点)	Cs134: 8.0E+4 Cs137: 1.6E+5 Co60: 6.5E+2 (2013.8.27)
42	集中ラド周リサブドレン	・集中ラド周リサブドレン	主プロセス建屋等各建屋周辺	約15/ピット	Cs134: ND～53 Cs137: ND～130 全β: ND～240 H-3: 14～210 (採水期間: 2013.12.12～2013.12.19)
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約8000	Cs134(2)、Cs137(5)、H3(ND)、 Co60(5)、全β 20 Bq/L (2014.9.19)
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(10M盤)	約850	Cs134: 2.1 Cs137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約6000 (2015.6時点)	【5号機】 Cs134(ND)、Cs137(2)、H3(132)、全β(ND) (2015.6.17) 【6号機】 Cs134(5.2)、Cs137(17)、H3(531)、全β(138) (2015.6.18)